◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

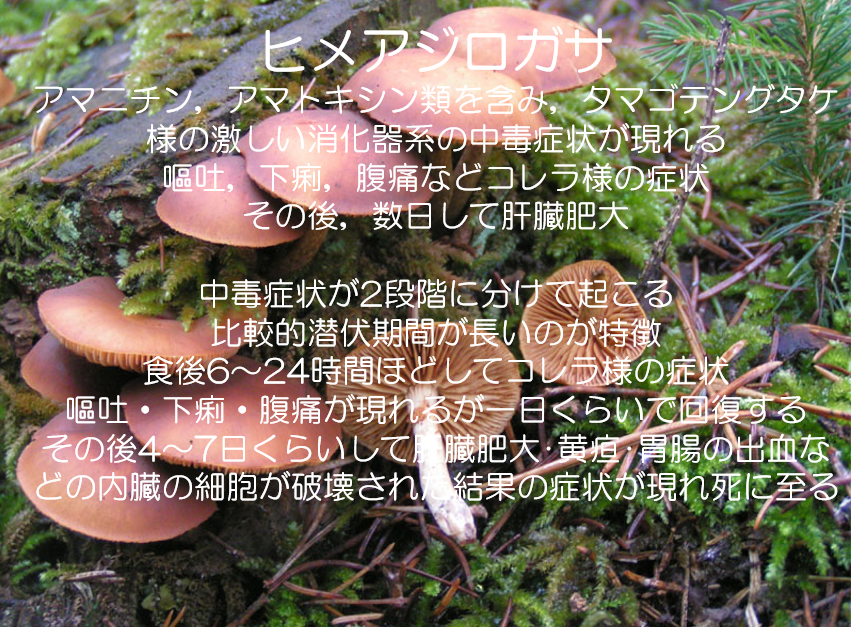
**食科協かわら版　No.319　（2021年度No.39）**　 　2021/12/10

食の行政情報ならびに食中毒情報及びコロナ関係通知をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆

**次回は「ベニテングダケ」**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係)**事業経過等　+東京都関係** | **2** |
| **2**[**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-5** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **5-7** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **7-16** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **16-18** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **18-27** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

12月03日　かわら版318号・かわら版ニュース＆トピックス191号を発行。

12月07日　かわら版ニュース＆トピックス192号を発行。

12月10日　かわら版319号・かわら版ニュース＆トピックス193号を発行。

12月10日　第7回運営委員会・常任理事会開催。

**新型コロナウイルス情報はホームページに移行しました**

**今後は行政情報については毎日　コロナの発生率については週一回の更新になります**

**行政情報については　今までより少し情報提供が早くなります**

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**■***NEW***第2回WHO特別総会結果（概要）　2021/12/6**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kokusai/tp210607-01_00005.html>

**■***NEW***第73回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和３年度第23回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）　資料　2021/12/3**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000208910_00035.html>

**■***NEW***令和３年度第１回化学物質のリスク評価検討会（ばく露評価小検討会）　議事録　2021/12/3**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22558.html>

**■令和３年10月11日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会新開発食品調査部会 議事録　2021/12/1**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22516.html>

**■外国人労働者の安全衛生対策について　2021/11/29**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000186714.html>

**■第１６回アレルギー疾患対策推進協議会　議事録　2021/11/29**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22451.html>

**■予防接種情報　2021/11/26**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/index.html>

**■ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種の今後の対応について　2021/11/26**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22419.html>

**■HPVワクチンに関する通知・事務連絡　2021/11/26**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/notifications.html>

**■令和３年11月12日　第72回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和３年度第22回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）議事録　2021/11/26**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22253.html>

**■ノロウイルスに関するＱ＆Ａ　2021/11/19**

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000856719.pdf>

**■原子力災害対策特別措置法第20条第２項の規定に基づく食品の出荷制限の解除　2021/12/1**

　　本日、原子力災害対策本部は、原子力災害対策特別措置法に基づき出荷制限が指示されていた福島県沖（※）において漁獲されたクロソイについて、出荷制限の解除を指示しました。

１　福島県に対し指示されていた出荷制限の品目のうち、福島県沖（※）において漁獲されたクロソイについて、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から福島県への指示は別添１のとおりです。

（２）福島県の申請は、別添２のとおりです。

※最大高潮時海岸線上宮城福島両県界の正東の線、我が国排他的経済水域の外縁線、最大高潮時海岸線上福島茨城両県界の正東の線及び福島県最大高潮時海岸線で囲まれた海域

２　なお、原子力災害対策特別措置法の規定に基づく食品の出荷制限及び摂取制限の指示の一覧は、参考資料のとおりです。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000860799.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000859674.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22456.html>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１２６５報）　2021/12/8**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22408.html>

**１　自治体の検査結果**

**※ 基準値超過　２１件**

**No. 176 群馬県産 　　イノシシ　 　　　 （Cs：120 Bq/kg）　東吾妻町**

**No. 190 群馬県産 　　ツキノワグマ 　　 （Cs：120 Bq/kg）　沼田町**

**No. 199 群馬県産 　　ツキノワグマ （Cs：140 Bq/kg）　桐生市**

**No. 202 群馬県産 　　イノシシ 　　　　 （Cs：160 Bq/kg）　みどり市**

**No. 203 群馬県産 　　イノシシ 　　　（Cs：990 Bq/kg）　みどり市**

**No. 207 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：250 Bq/kg）　みどり市**

**No. 208 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：160 Bq/kg）　みどり市**

**No. 209 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：450 Bq/kg）　みどり市**

**No. 210 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：310 Bq/kg）　みどり市**

**No. 211 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：280 Bq/kg）　みどり市**

**No. 212 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：320 Bq/kg）　みどり市**

**No. 213 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：330 Bq/kg）　みどり市**

**No. 214 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：220 Bq/kg）　みどり市**

**No. 216 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：270 Bq/kg）　みどり市**

**No. 217 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：200 Bq/kg）　みどり市**

**No. 218 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：120 Bq/kg）　みどり市**

**No. 219 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：120 Bq/kg）　みどり市**

**No. 220 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：110 Bq/kg）　みどり市**

**No. 221 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：310 Bq/kg）　みどり市**

**No. 222 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：140 Bq/kg）　みどり市**

**No. 419 宮城県産 　　ニホンジカ肉　　　 （Cs：140 Bq/kg）　石巻市**

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.mhlw.go.jp%2Fcontent%2F11135000%2F000863664.xlsx&wdOrigin=BROWSELINK>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２６４報）　2021/12/2**

**１　自治体の検査結果**

**※ 基準値超過　２件**

**No. 37　　 宮城県産 　　シロシメジ 　（Cs：130 Bq/kg）　登米市**

**No. 50 　　宮城県産 　　マツタケ　 　（Cs：240 Bq/kg）　気仙沼市**

**２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果**

**※ 基準値超過　６件**

**No. 1378　　福島県産　　イワナ　　　　　　（Cs：160 Bq/kg）　いわき市**

**No. 1823　　福島県産　　イノシシ　　　　　（Cs：300 Bq/kg）　相馬市**

**No. 1824　　福島県産　　イノシシ　　　　　（Cs：390 Bq/kg）　相馬市**

**No. 1831　　福島県産　　イノシシ　　　　　（Cs：180 Bq/kg）　福島市**

**No. 1834　　福島県産　　イノシシ　　　　　（Cs：810 Bq/kg）　南相馬市**

**No. 1852　　産地不明　　コウタケ 　　　　 （Cs：190 Bq/kg）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22240.html>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２６３報）　2021/11/24**

**１　自治体の検査結果**

**※ 基準値超過　1件**

**No. 27　　群馬県産　　クリタケ　　　　　（Cs：190 Bq/kg）　みどり市**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22127.html>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.24/ 2021（2021.11.24）**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202124m.pdf>

目次

**【世界保健機関（WHO）】**

1. 世界保健機関（WHO）の「食品安全のための世界戦略（案）（Draft WHO Global Strategy for Food Safety）」に関する一般意見募集の要約報告書

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. ベビーホウレンソウに関連して複数州にわたり発生している大腸菌 O157:H7 感染アウトブレイク（2021 年 11 月 15 日付初発情報）

2. タマネギに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（ Salmonella Oranienburg）感染アウトブレイク（2021 年 11 月 16 日付更新情報）

3. スティックサラミに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella I 4,[5],12:i:-）感染アウトブレイク（2021 年 11 月 12 日付更新情報）

4. 加熱調理済み鶏肉に関連して複数州にわたり発生したリス テリア（ Listeria

monocytogenes）感染アウトブレイク（2021 年 9 月 10 日付最終更新）

**【カナダ公衆衛生局（PHAC）】**

1. 公衆衛生通知：カナダの複数州にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella

Enteritidis）感染アウトブレイク（2021 年 11 月 12 日付初発情報）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】**

1. 基質特異性拡張型βラクタマーゼ（ESBL）・プラスミド性 AmpC 型βラクタマーゼ・カルバペネマーゼ産生性サルモネラの抗菌剤感受性試験および検出に関する第 4 回外部精度評価（2018 年）

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and

Feed）

**【Eurosurveillance】**

1. 全ゲノムシークエンシング（WGS）法を利用したカンピロバクター症サーベイランス：持続的な大規模アウトブレイクの検出（デンマーク、2019 年）

**【ProMED-mail】**

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（43）（42）（41）

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202124m.pdf>

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.24/ 2021（2021.11.24）**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202124c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【EFSA】 ゼラチン中のニトロフラン類とその代謝物の存在**

ゼラチン中から EU 規則の介入参照値を超えるセミカルバジド（SEM）が検出されたことを受けて、それが何に由来する可能性があるのか、欧州食品安全機関（EFSA）が既存の情報をもとに調査した。SEM はニトロフラン類の一つであるニトロフラゾンの代謝物として知られているが、入手可能な文献によると、その他の発生源もあることが報告されている。そのため、SEM を動物性食品におけるニトロフラゾンの違法使用を判定するためのマーカーとして利用できないことが示唆される。検出された SEM が何に由来するのか判定できるようにするには、より詳細な調査が必要である。

**＊ポイント：** ニトロフラン類を食料生産動物に使用することは禁じられており、その違法使用の確認試験では代謝物をマーカーとするのが一般的です。ただし SEM は他の発生源からも生成し、以前には瓶の蓋のプラスチックパッキンの発泡剤や小麦粉の改良材として当時使用されていたアゾジカルボンアミドが発生源として問題になったことがあります。今回のゼラチン中の SEM については、発生源として製造工程中の次亜塩素酸による殺菌処理か、成分の反応が有力視されていますが、明確な答えはでていないようです。

**【FSANZ】 新しい協力はオーストラリアのブランド食品データベースに関する作業開始を告げる**

オーストラリア・ニュージーランド食品基準局（FSANZ）は、国内で販売されているブランド食品と飲料品の情報を集約してオンラインで公開するデータベースの構築に向けて作業を開始した。目標は、2023 年までに、全国の小売店で販売されている包装食品及び飲料の 85％の情報をデータベースに登録することである。データとして、GTIN（Global Trade Item Number：商品識別コード）、製造業者、ブランド及び食品名、栄養成分表、記載成分、包装量と分量、及び表示されている場合は HSR（Health Star Rating）など、包装上のさまざまな情報が含まれる。データの公開は、提供者の許可を得た上で 2022 年後半に FSANZ のウェブサイトで実施される予定である。

**＊ポイント：** 国と業界が協力した壮大なプロジェクトです。消費者が十分な情報を得た上で購入する食品を選択できるようにすることが第一目的のようですが、食品摂取量データなど他のデータと組み合わせることで、色々と有効活用できると思います。他国でも同様のデータベースが作成されており、日本バージョンもできることを期待しています。

**【COT】マイクロプラスチック暴露によるリスクの可能性についてのサブ声明：経口ルート**

英国毒性委員会（COT）は、入手可能なデータに基づき、経口ルートによるマイクロ及びナノプラスチック（NMPs）への暴露によるヒトの潜在的なリスクについて、完全な評価を行うことはまだ不可能である、と結論した。この結論は他機関の結論と一致していることに注意すべきである。最も重要なデータギャップは、NMPs の分析法（適切な標準品とともに）と、ヒトに関連するトキシコキネティクス及び毒性の情報がないことである。

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202124c.pdf>

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第８42回）の開催について　2021/12/9**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和3年12月14日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３．議事

（１）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

　　　・農薬８品目

　　　　1,4-ジメチルナフタレン、アセキノシル、トリネキサパックエチル、トリフルミゾール、ピラジフルミド、フルエンスルホン、フルトリア

　　　　ホール、フロニカミド

　　　　（厚生労働省からの説明）

　　　・動物用医薬品 １案件

　　　　動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（硫酸マンガン）

　　　　（農林水産省からの説明）

（２）動物用医薬品専門調査会における審議結果について

　　　・「オルトジクロロベンゼン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（３）遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

　　　・「JPBL008株を利用して生産されたα-アミラーゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

　　　・「JPBL009株を利用して生産されたα-アミラーゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

　　　・「JPBL010株を利用して生産されたα-アミラーゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（４）肥料・飼料等専門調査会における審議結果について

　　　・「クロキサシリン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（５）食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の調査結果について（第２６回：令和３年９月３０日時点）

（６）その他

４．動画視聴について：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、12月13日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名、所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、12月14日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

　<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■食品安全関係素材集　2021/11/30**

**いい仕事です　ホームページにも掲載済み**

<https://www.fsc.go.jp/sozaishyuu/>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和3年11月6日から令和3年11月18日）2021/12/3**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2021&from_month=11&from_day=6&to=struct&to_year=2021&to_month=11&to_day=18&max=100>

**４．****<農水省関係>**<https://www.maff.go.jp/>

**■***NEW***埼玉県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内7例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2021/12/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211209.html>

　埼玉県美里町で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）埼玉県美里町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（12月7日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***広島県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内8例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2021/12/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211209_4.html>

　　広島県福山市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）広島県福山市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（12月7日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***株式会社五橋水産における生鮮水産物の不適正表示に対する措置について　2021/12/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/211208.html>

　　農林水産省は、株式会社五橋水産（本社：熊本県天草市今釜町10番31-2号グリーンハイツ福山2号C。法人番号9330001025962。以下「五橋水産」という。）が、生鮮水産物あさりの原産地について、中国産又は福岡県産であるにもかかわらず、熊本県産と事実と異なる表示をし販売していたことを確認しました。

このため、本日、五橋水産に対し、食品表示法に基づき、表示の是正と併せて、原因の究明・分析の徹底、再発防止対策の実施等について指示を行いました。

1.経過

農林水産省九州農政局が、令和元年8月22日から令和3年11月24日までの間、五橋水産に対し、また、農林水産省中国四国農政局が、令和2年7月15日から7月28日までの間、五橋水産下関事務所(山口県下関市東大和町1-4-38 富士ビル601)に対し、食品表示法（平成25年法律第70号）第8条第2項の規定に基づく立入検査等を行いました。

この結果、農林水産省は、五橋水産が、生鮮水産物あさりの原産地について、以下のとおり事実と異なる表示をし、少なくとも平成31年1月2日から2月10日までの間に、630,330kgを一般用生鮮食品として最大で22社の中間流通業者に対し販売したことを確認しました。(別紙1参照)

(1)生鮮水産物あさりの原産地が中国産であるにもかかわらず、熊本県産と事実と異なる表示をして、少なくとも平成31年1月2日から2月10日までの間に、611,320kgを一般用生鮮食品として最大で22社の中間流通業者に対し販売したこと。

(2)生鮮水産物あさりの原産地が福岡県産であるにもかかわらず、熊本県産と事実と異なる表示をして、少なくとも平成31年1月7日から2月10日までの間に、19,010kgを一般用生鮮食品として最大で11社の中間流通業者に対し販売したこと。

2.措置

五橋水産が行った上記1の行為は、食品表示法第4条第1項の規定に基づき定められた食品表示基準（平成27年内閣府令第10号）第18条第1項の表の「原産地」の表示の方法の規定に違反するものです。（別紙2参照）

このため、農林水産省は、五橋水産に対し、食品表示法第6条第1項の規定に基づき、以下の内容の指示を行いました。

指示の内容

(1) 販売する全ての食品について、直ちに表示の点検を行い、不適正な表示の食品については速やかに食品表示基準の規定に従って、適正な表示に是正した上で販売すること。

(2) 販売していた食品について、不適正な表示を行った主たる原因として、食品表示制度に関する法令遵守の認識が著しく欠如していたと考えざるを得ないことから、これを含めた原因の究明・分析を徹底すること。

(3)食品表示制度の遵守を徹底し、再発防止対策を適切に実施すること。これにより、今後、販売する食品について、食品表示基準に違反する不適正な表示を行わないこと。

(4) 全役員及び従業員に対して、食品表示制度についての啓発を行い、その遵守を徹底すること。

(5) (1)から(4)までに基づいて講じた措置について、令和4年1月11日までに農林水産大臣宛てに提出すること。

　別紙1 不適正表示一覧表

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/211208-1.pdf>

別紙2 食品表示法（抜粋）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/211208-2.pdf>

参考 株式会社五橋水産の概要

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/211208-3.pdf>

**■***NEW***ポルトガルからの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/12/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211208_6.html>

　　農林水産省は、12月6日（月曜日）にポルトガルからの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

ポルトガルの家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、ポルトガル家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

OIEへの通報を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年12月6日（月曜日）にポルトガルからの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、2国間で輸入条件が設定されていないため、従前より輸入できません。

**■***NEW***英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/12/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211208_7.html>

　　農林水産省は、12月6日（月曜日）に英国のダンフリースシャー州、グウェント州及びミッド・グラモーガン州からの、12月7日（火曜日）にダラム州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

英国のダンフリースシャー州、ポーイス州及びノースヨークシャー州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、並びに、本発生に伴い設定された制限地域が隣接するグウェント州、ミッド・グラモーガン州及びダラム州に及んだ旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。

（参考）ポーイス州及びノースヨークシャー州からの家きん肉等については、高病原性鳥インフルエンザの発生により、令和3年11月以降、一時輸入停止措置をしています。

2.対応

英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年12月6日（月曜日）にダンフリースシャー州、グウェント州及びミッド・グラモーガン州からの、12月7日（火曜日）にダラム州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは引き続き一時輸入停止措置をしています。

**■***NEW***鹿児島県出水市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内2例目及び3例目）に係る移動制限の解除について　2021/12/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211208.html>

　　鹿児島県は、同県出水市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内2例目及び3例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和3年12月8日（水曜日）午前0時（12月7日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました

1.経緯及び今後の予定

（1）鹿児島県は、同県出水市の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内2例目及び3例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）鹿児島県は、同県出水市で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和3年12月2日午前11時に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、鹿児島県は、国内2例目及び3例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和3年11月16日の翌日から起算して21日が経過する12月8日（水曜日）午前0時（12月7日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/12/7**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211207_3.html>

　　農林水産省は、12月3日（金曜日）に英国のヘレフォードシャー州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

英国のヘレフォードシャー州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年12月3日（金曜日）にヘレフォードシャー州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは引き続き一時輸入停止措置をしています。

**■***NEW***千葉県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内6例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2021/12/7**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211207_4.html>

　　千葉県市川市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）千葉県市川市の宮内庁新浜鴨場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（12月5日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***広島県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内8例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2021/12/7**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211207_2.html>

　　本日（12月7日（火曜日））、広島県福山市の採卵鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内8例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

農場所在地：広島県福山市

飼養状況：採卵鶏（約3万羽）

2.経緯

（1）昨日（12月6日（月曜日））、広島県は、同県福山市の農場から、死亡羽数が増加してる旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明。

（3）本日（12月7日（火曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

**■***NEW***埼玉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内7例目）について　2021/12/7**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211207.html>

　　本日（12月7日（火曜日））、埼玉県美里町の採卵鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内7例目）されました。

当該農場は、農家から通報があった時点から飼養家きん等の移動を自粛しています。

なお、我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えております。

現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.農場の概要

所在地：埼玉県美里町

飼養状況：採卵鶏(約1.7万羽）

2.経緯

（1）昨日（12月6日（月曜日））、埼玉県は、同県美里町の農場から、異状（まとまって死亡）がみられるとの通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明。

（3）本日（12月7日（火曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

**■***NEW***ドイツからの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/12/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211206_3.html>

　　農林水産省は、令和3年12月4日（土曜日）にドイツのバイエルン州、テューリンゲン州及びザクセン州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

ドイツのバイエルン州及びテューリンゲン州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認され、テューリンゲン州での発生により設定された制限地域が隣接するザクセン州に及んだ旨、ドイツ家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

OIEへの通報を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年12月4日（土曜日）にバイエルン州、テューリンゲン州及びザクセン州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和3年10月25日（月曜日）、同国シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州での高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生を受け、ドイツ全土からの輸入を停止しています。

**■***NEW***熊本県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内5例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2021/12/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211206.html>

　　熊本県南関町（なんかんまち）で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）熊本県南関町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（12月3日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内6例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2021/12/5**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211205.html>

　　本日、千葉県市川市の宮内庁新浜鴨場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内6例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

農場所在地：千葉県市川市

飼養状況：約340羽

2.経緯

（1）昨日（12月4日（土曜日））、千葉県は、同県市川市の宮内庁新浜鴨場から、あひる（あいがも）の死亡やふらつき症状が見られる旨の通報を受け、立入検査を実施。

（2）同日、当該あひる（あいがも）について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明。

（3）本日（12月5日（日曜日））、当該あひる（あいがも）について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

**■兵庫県姫路市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内4例目）に係る搬出制限の解除について　2021/12/3**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211203.html>

　　兵庫県は、同県姫路市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内4例目）に関し、発生農場の半径3kmから10km以内の区域に設定している搬出制限を本日午前0時に解除しました。

今後、兵庫県は、国内4例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、令和3年12月14日（火曜日）午前0時（12月13日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

1.今後の予定

（1）兵庫県は、同県姫路市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内4例目）に関し、本日午前0時、発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（2）今後、兵庫県は、国内4例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、発生農場の防疫措置が完了した11月22日の翌日から起算して21日が経過する、12月14日（火曜日）午前0時（12月13日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

**■熊本県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内5例目）について　2021/12/3**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211203_4.html>

　本日（12月3日（金曜日））、熊本県南関町（なんかんまち）の肉用鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内5例目）されました。

当該農場は、農家から通報があった時点から飼養家きん等の移動を自粛しています。

なお、我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えております。

現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.農場の概要

所在地：熊本県南関町

飼養状況：肉用鶏(約6.7万羽）

2.経緯

（1）昨日（12月2日（木曜日））、熊本県は、同県南関町の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明。

（3）本日（12月3日（金曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

**■鹿児島県出水市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内2例目及び3例目）に係る搬出制限の解除について　2021/12/2**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211202.html>

　　鹿児島県は、同県出水市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内2例目及び3例目）に関し、発生農場の周辺にある農場について清浄性確認検査を実施し、本日、全て陰性であることを確認いたしました。これを受け、鹿児島県は、発生農場の半径3kmから10km以内の区域に設定している搬出制限を本日午前11時に解除しました。

今後、鹿児島県は、国内2例目及び3例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、令和3年12月8日（水曜日）午前0時（12月7日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

なお、本件は、鹿児島県においてもプレスリリースを行っております。

1.清浄性確認検査の結果及び今後の予定

（1）鹿児島県は、同県出水市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内2例目及び3例目）に関し、移動制限区域内の家きん飼養農場について、本日までに、清浄性を確認するための検査（臨床検査、血清抗体検査及びウイルス分離検査）で全て陰性を確認し、当該区域の清浄性を確認しました

（2）これを受け、鹿児島県は、本日午前11時、発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今後、鹿児島県は、国内2例目及び3例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、発生農場の防疫措置が完了した11月16日の翌日から起算して21日が経過する12月8日（水曜日）午前0時（12月7日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

**■英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/12/1**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211201_10.html>

　　農林水産省は、11月27日（土曜日）に英国のノッティンガムシャー州、アングルシー島及びグウィネズ州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

英国のレスターシャー州及びアングルシー島の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、並びに、本発生に伴い設定された制限地域が隣接するノッティンガムシャー州及びグウィネズ州に及ぶ旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。

（参考）レスターシャー州からの家きん肉等については、高病原性鳥インフルエンザの発生により、令和3年11月22日付けで一時輸入停止措置をしています。

2.対応

英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月27日（土曜日）にノッティンガムシャー州、アングルシー島及びグウィネズ州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは引き続き一時輸入停止措置をしています。

**■秋田県横手市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内1例目）に係る搬出制限の解除について　2021/12/1**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211201.html>

　　秋田県は、同県横手市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内1例目）に関し、発生農場の半径3kmから10km以内の区域に設定している搬出制限を本日午前0時に解除しました。

今後、秋田県は、国内1例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ令和3年12月12日（日曜日）午前0時（12月11日（土曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

1.今後の予定

（1）秋田県は、同県横手市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内1例目）に関し、本日午前0時、発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（2）今後、秋田県は、国内1例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、発生農場の防疫措置が完了した11月20日の翌日から起算して21日が経過する、12月12日（日曜日）午前0時（12月11日（土曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

**■食品ロス量が前年度より30万トン減少しました　2021/11/30**

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/211130.html>

**■オーストリアからの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/11/29**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211129.html>

　　農林水産省は、令和3年11月27日（土曜日）にオーストリアからの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

オーストリアの家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、オーストリア家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

OIEへの通報を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月27日（土曜日）にオーストリアからの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、2国間で輸入条件が設定されていないため、従前より輸入できません。

**■フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/11/29**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211129_2.html>

　　農林水産省は、令和3年11月29日（月曜日）、フランスのノール県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

フランスのノール県の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）の発生が確認された旨、フランス家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

フランス家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期するため令和3年11月29日（月曜日）、同県からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止しました（※）。

**■米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/11/29**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211129_3.html>

　　農林水産省は、令和3年11月29日（月曜日）、アメリカ合衆国（以下「米国」という。）ミネソタ州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国ミネソタ州の家きん飼養農場において、低病原性鳥インフルエンザ（H5N3亜型）の発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月29日（月曜日）、米国ミネソタ州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を以下のように一時停止しました。

【生きた家きん（家きんの初生ひな及び種卵）】

ミネソタ州全域

【家きん肉等、家きん卵等】

ミネソタ州の発生場所から半径10km以内の区域

**■群馬県における豚熱の確認（国内74例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について　2021/11/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211126_4.html>

　　本日、群馬県桐生市の養豚農場において家畜伝染病である豚熱の患畜が確認されたことを受け農林水産省は本日、「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の防疫方針について確認します。

現場及び周辺地域にも本病のウイルスが存在する可能性があり、人や車両を介して本病のまん延を引き起こすおそれがあります。現場及び周辺地域での取材は、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.農場の概要

所在地：群馬県桐生市

飼養状況：約2,400頭

2.経緯

（1）群馬県は、昨日（11月25日（木曜日））、同県桐生市の農場から、死亡頭数が増加している旨の通報を受け、病性鑑定を実施。

（2）群馬県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門（注）で精密検査を実施したところ、本日（11月26日（金曜日））、豚熱の患畜であることが判明。

**■英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置の解除について　2021/11/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211126.html>

　　農林水産省は、今般、英国のアントリム州及びダウン州における鳥インフルエンザの清浄性を確認したことから、本日、当該2州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました。

1.経緯

英国から我が国に輸入される家きん肉等については、令和3年6月に同国と輸入条件を設定しましたが、高病原性鳥インフルエンザの清浄性が確認できていなかったアントリム州及びダウン州からの家きん肉等については、輸入を一時停止していました。

2.対応

今般、英国家畜衛生当局から我が国に提供された、アントリム州及びダウン州における鳥インフルエンザの防疫措置等の情報により、これらの州の家きんにおける同病の清浄性を確認しました。このため、本日付けで当該一時輸入停止措置（※）を解除しました。

なお、生きた家きんについては、コンパートメント施設以外の施設からは、引き続き一時輸入停止措置の対象となります。

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**

<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***高齢者の事故を防ぐために　2021/12/8**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\_safety/caution/caution\_055/#bathing\_accident](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_055/%23bathing_accident)

**■「食品ロス量(令和元年度推計値)の公表」について　2021/11/30**

**「食品ロス量(令和元年度推計値)の公表」について**

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/Press.pdf>

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/026635/>

**■食品ロスについて学ぶ 2 : 参考資料・調査結果等　2021/11/30**

**食品ロス削減関係参考資料(2021年11月30日)**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/assets/efforts_211130_0001.pdf>

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\_policy/information/food\_loss/education/#reference](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/education/%23reference)

**■インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示に対する要請について(令和3年7月～9月)　 2021/11/29**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/extravagant_advertisement/assets/representation_cms214_211129_01.pdf>

**■特別用途食品について　2021/11/26**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\_labeling/foods\_for\_special\_dietary\_uses/#m01](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_for_special_dietary_uses/%23m01)

　腎臓病用組合せ食品ってなに?

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/health_promotion/assets/food_labeling_cms206_211126_01.pdf>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★らでぃっしゅ福祉会 「酒粕スティック、甘酒クラッカー」 - 返金／回収　針金が混入　2021/12/9**

**★CPフーズ「Vセレクトあんまん」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：2022.12.09、正：2021.12.09）　2021/12/9**

**★マリンフード「モッツァレラミックスチーズ 160g」 - 返金／回収　賞味期限、原産地表示の一部欠落　2021/12/8**

**★海部東農業協同組合「ほうれんそう」 - 回収　残留農薬基準を超える農薬成分の検出（エトフェンプロックスが0.05ppm（基準値0.01ppm）検出）　2021/12/8**

　　エトフェンプロックスは、三井化学株式会社により開発されたピレスロイド系殺虫 剤であり、鱗翅目、半翅目、双翅目等に対して、広い殺虫スペクトルを有する。 神経 軸索におけるナトリウムチャンネルの正常な働きを阻害することによって、殺虫活性 を示す。

**★丸貞蒲鉾「板付かまぼこ：旬のかまぼこ 白」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落　2021/12/8**

**★霧島酒造「発酵あまさけ 白麹仕込み」 - 交換／回収　異物（カビのようなもの）を認めたため　2021/12/8**

**★サンワールド「きなこ棒」 - 返金／回収　カビによる汚染があったため　2021/12/8**

**★こだわりの頑固屋「国産味噌汁の具」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2021/12/7**

**★有限会社八島食品「いか人参」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」「大豆」の表示欠落　2021/12/7**

**★都商事「漬物」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」「大豆」の表示欠落　2021/12/7**

**★セラーズ「ハロウィン巾着（M）」 - 返金／回収　原材料名、添加物、原料原産地、内容量、アレルゲン、製造所所在地、及び製造者名称の表示欠落　2021/12/7**

**★伊庭多枝子「若穂のプルーンケーキ」 - 交換／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2021/12/7**

**★マックスバリュ西日本「もちもち水餃子」 - 返金／回収　アレルゲン「卵、ゼラチン」の表示欠落　2021/12/6**

**★浪漫亭「徳用パリッと生餃子（16ヶ入）」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：21.12.7、正：21.12.3）　2021/12/6**

**★イチマル食品加工「板付かまぼこ：特選 中小板 赤、特選 中小板 白」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2021/12/6**

**★アイリスフーズ「ボルヴィック 1.5L」 - 返金／回収　別商品（コントレックス1.5L）の品質表示シールを貼付して販売　2021/12/6**

**★紀文食品「切れてるだし巻玉子、切れてる厚焼玉子」 - 返金／回収　アレルゲン「さば」「小麦」の表示欠落　2021/12/6**

**★高島屋「フォション 低糖度ジャム（アプリコット）」 - 返金／回収　アレルゲン「オレンジ」の表示欠落（実際の中身はオレンジジャム）　2021/12/6**

回収の理由：食品表示法違反のおそれ

　一括表示の記載がある商品ラベルはアプリコットジャムのものだが、実際の中身はオレンジジャムであり、一括表示の原材料表記やアレルゲン表示からオレンジが欠落している。

**珍しい事件ですね**

**★宇都宮農業協同組合「にら」 - 回収　残留農薬の基準超過　2021/12/3**

食品衛生法違反　残留農薬の基準超過

検出された残留農薬名

　プロチオホス 0.22ppm（0.2ppm）

　プロパニル 0.034ppm（0.01ppm）

　ペンディメタリン 0.059ppm（0.05ppm）

　※カッコ内は基準値

**★丸善海苔加工販売「ヤオコー ぶっかけ韓国もみのり 梅かつお味（ヤオコープライベートブランド）」 - 回収　黒いスポンジ片の混入　2021/12/3**

**★あけぼの海産「播磨灘産生かきRP 100g生食」 - 回収命令　細菌数基準値超過（食品衛生法第13条第2項違反）　2021/12/3**

**★とりせん（小鳥店）「いわし丸干し、ほか11商品」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：21.21.3、正：21.12.3）　2021/12/3**

**★JA高崎ハム 「ドミー使い切りハーフベーコン」 - 返金／回収　賞味期限表示欠落のおそれ（本来の賞味期限：21.12.11）　2021/12/3**

**★鈴屋「かぼちゃ甘納糖、栗甘納糖　2個袋入り」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：22.12.25、正：21.12.25）　2021/12/3**

**★丸貞蒲鉾「匠スティック」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落　2121/12/3**

**★エイヴイ「豚ひき肉（大）、豚ひき肉（特大）」 - 返金／回収　クリップの破片と思われる物が混入した疑いがあるため　2021/12/3**

**★丸貞蒲鉾「さつま揚、野菜揚、たまねぎ天」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落　2021/12/3**

**★綿半パートナーズ「紅茶クッキー」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落　2021/12/2**

**★樽政本店「業務用生ラーメン 5人前」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：12.20、正：12.5）　2021/12/2**

**★昭宝製菓「富士の彩り道楽餅」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：2022.12.30、正：2021.12.30）　2021/12/2**

**★エーデルワイス沖縄「シュトーレン、パウンドケーキ」 - 返金／回収　包装不良による品質の劣化ならびにカビ汚染の可能性　2021/12/2**

**★佐藤拓也「柚子マーマレード（ゆずニャーニャレード）」 - 返金／回収　カビによる汚染　2021/12/2**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■給食の牛乳に「苦い」「ヨーグルトのようなにおい…１２人が腹痛や吐き気**

**12/8(水) 22:48配信　読売新聞オンライン　大阪府大阪市**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9656771aa2d07723ccf9a378433591fa258ec091>

**報道発表資料　学校給食用牛乳の提供停止について（第一報）　大阪府大阪市**

**2021年12月8日　ページ番号：551219**

**問合せ先：教育委員会事務局 総務部 保健体育担当（06-6208-9140）**

**調査中**

<https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/kyoiku/0000551219.html>

令和3年12月8日 15時45分発表

　大阪市教育委員会事務局では、令和3年12月8日（水曜日）、一部の学校で、学校給食において提供した牛乳について、飲用に適さないと判断し提供を中止しましたので、お知らせします。

1　経過

　　令和3年12月8日（水曜日）13時頃、大阪市立小学校3校（東住吉区2校・平野区1校）から、給食に提供した牛乳について、味や匂いに異変があるという報告がありました。

　報告を受け、同一業者から牛乳を納品している学校に対して、直ぐに牛乳の喫食を止めるよう指示しましたが、児童生徒の一部は既に飲んでいる状態でした。

　児童生徒の健康状態については、現在確認中です。

2　発生原因　現在調査中です。

3　対象校（同一業者から牛乳を納品している学校）

北区、東淀川区、生野区、東住吉区、平野区の小学校81校及び中学校39校

4　対象本数　約4万本

**報道発表資料　学校給食用牛乳の提供停止について（第二報）　大阪市**

**2021年12月9日**

**調査中**

<https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/kyoiku/0000551330.html>

令和3年12月9日 15時55分発表

　令和3年12月8日（水曜日）、一部の学校で、学校給食において提供した牛乳を飲用に適さないと判断し提供を中止した件につきまして（令和3年12月8日15時45分報道発表済み）、現在の状況をお知らせします。

1　牛乳の異変が確認された学校

小学校4校（東住吉区2校、平野区2校）

中学校1校（東住吉区）

2　牛乳の異変が確認された学校における児童生徒の健康状態

　腹痛などの体調不良を訴えた児童生徒は21名です。

　うち1名が令和3年12月9日（木曜日）に、体調不良のため欠席していますが、牛乳喫食との関連性について現在確認できていません。

3　その他

　　令和3年12月9日（木曜日）以降の給食には、当該牛乳供給事業者が製造した牛乳の提供を停止し、原因が判明するまでの間、他の牛乳供給事業者が製造した牛乳を提供します。

　関係機関と連携し、引き続き、原因を調査しています。

**■徳島・美馬市のカフェの弁当で5人が食中毒4日間の営業停止　徳島県美馬市**

**12/5(日) 10:12配信　徳島新聞**

**セレウス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/96df8d7fc9a1d453b322043ac9cc7e9316987662>

**食中毒事件の発生について　2021年12月4日　徳島県美馬市**

**セレウス**

<https://anshin.pref.tokushima.jp/docs/2021120300083/>

県内で発生した食中毒事件について、次のとおりお知らせします。

１　原因施設

　　　名称　Ｌｉｎｋ　Ｐｏｉｎｔ　ＳＡＩＲＡＩ

２　原因食品の喫食者数及び有症者数

　　　喫食者：７名

　　　有症者：５名（すべて男性、３０～５０歳代）

３　主症状　おう吐、吐き気等（入院者なし、全員快方に向かっている）

４　原因食品　原因施設が１１月３０日（火）に調理、提供した弁当

５　原因物質　セレウス菌

６　発症者の主な喫食メニュー

　弁当（肉入り野菜炒め、鴨肉のメンチカツ、雑穀ごはん、マカロニサラダ　など）

７　セレウス菌について

　　・セレウス菌は、土壌・水・ほこりなどの自然環境や、野菜・肉・魚などの食品に広く分布しています。

　　・セレウス菌による食中毒は、「嘔吐型」と「下痢型」の２つのタイプに分類されます。

　　・日本では「嘔吐型」が多く見られます。

　　　嘔吐型では、食べた後３０分～６時間（平均２～３時間）程度で、吐き気やおう吐が見られます。

　　・いずれもセレウス菌が産生する毒素が食中毒発生に関与しています。

　　・セレウス菌は熱に強い芽胞を形成します。嘔吐型を引き起こす毒素も熱に強く、１２６℃９０分でも失活しません。

８　セレウス菌による食中毒予防

　　（１）作り置きせずに必要な量の食品を調理し、調理したものは早く食べる。

　　（２）食品中での菌の増殖を防ぐため、加熱調理食品の冷却は速やかに行う。

　　（３）食品を保存する場合は、８℃以下か５５℃以上にする。

　　（４）前日調理を避け、調理後は室温で放置しない。

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2021/12/8　新宿区**

**カンピロバクター及びサルモネラ属菌**

<http://www.city.shinjuku.lg.jp/content/000321898.pdf>

　公表年月日　2021/12/8

　業種等　飲食店営業

　施設の名称　おはじき新宿橋本都主な適用条項　６条

　不利益処分等の原因となった食品等

　生または生に近い状態の鶏肉料理を含む食事　カンピロバクター及びサルモネラ属菌

　不利益処分等を行った理由　食中毒（当該飲食店が提供した食品を原因とする）

　不利益処分等の内容

　　令和３年 12 月8 日から令和 3年 12 月 13 日までの 6 日間の営業停止命令、取扱改善命令

　備考　令和３年 12 月7 日は自主的に休業

**■前号で調査中として掲載**

**食中毒が発生しました　2021/12/3　福岡県小郡市**

**サルモネラ**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku211203.html>

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/151033.pdf>

　次のとおり食中毒が発生したので発表します。

１　事件の探知

　令和３年１１月２６日（金曜日）、小郡市の住民から、県外で購入した蒸し鶏及びうきは市内の食肉販売店で購入した馬刺しを喫食したところ、食中毒様症状を呈している者が複数いる旨、北筑後保健福祉環境事務所に連絡があった。

２　概要

　同事務所が調査したところ、１１月２３日（火曜日）に夫婦２名で購入した蒸し鶏及び馬刺しを持ち帰り、当日１９時頃自宅で喫食。また、分割したものを別居の親族（娘）が自宅に持ち帰り、同日２０時半頃自宅で夫婦で喫食したところ、両家族４名のうち３名が腹痛、下痢、発熱等の症状を呈し、医療機関を受診していることが判明した。

　現在、同事務所は疫学調査及び有症者便等の検査の結果から、本件を食中毒と断定した。

３　発生日時　令和３年１１月２４日（水曜日）２０時頃（初発）

４　摂食者数　４名（２グループ）

５　症状　腹痛、下痢、発熱等

６　有症者数　３名（男性１名、女性２名）なお、有症者については全員快方に向かっている。

テーブル

自動的に生成された説明

７　原因施設、原因食品、病因物質

(1)原因施設

屋　号：大山精肉店

業　種：食肉販売業

(2)原因食品　馬刺し

(3)病因物質　サルモネラ属菌

８ 検 査　有症者の便及び調理従事者便からサルモネラ属菌を検出した。

９ 措 置　営業停止：２日間（１２月３日～４日）

１０ その他　当該施設は１１月２９日から自主休業している。

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（１１月２９日現在。調査中の事件を除く。）

テーブル

自動的に生成された説明

**■食品衛生法違反者等の公表について（令和３年11月30日公表）　北海道千歳市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kse/sho/tyu/87593.html>

　公表年月日　令和３年（2021年）11月30日（火）

区分　食中毒の発生

発生年月日　令和３年（2021年）11月21日（日）

患者数　６名

患者の症状　下痢、発熱等

原因食品　当該施設が11月20日（土）に提供した食事

原因物質　カンピロバクター属菌

原因施設　施設名称　　やき鳥　なおちゃん

業種名　　飲食店営業

行政処分等の内容及び措置状況等

　千歳保健所は、食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令附則第２条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた場合における、食品衛生法等の一部を改正する法律第２条の規定による改正前の食品衛生法第５５条第１項に基づき、営業者に対し、令和３年（2021年）11月30日（火）から12月２日（木）までの３日間、当該施設の営業停止を命ずるとともに、食品の衛生的な取扱い、施設設備及び器具等の清掃・消毒の徹底並びに調理従事者に対する衛生教育の実施を指示した。

**★ウイルスによる食中毒★**

**■**

**★寄生虫による食中毒★**

**■食品衛生法違反者等の公表について　2021/12/8　豊島区**

**アニサキス**

<https://www.city.toshima.lg.jp/217/kurashi/ese/shokuhin/1502191311.html>

　公表年月日　令和3年12月8日

施設の名称　大塚まるま

業種等　飲食店営業

主な適用条項

食品衛生法（食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法（昭和22年法律第233号）。以下「法」という。）第6条の規定に違反するので、法律第55条を適用

※食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第123号）附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた者であるから、当該営業者に対する不利益処分については、この法を適用する。

不利益処分等を行った理由 食中毒の発生

不利益処分等の内容　令和3年12月8日（1日間）の営業等の一部停止命令

生食用鮮魚介類（冷凍品を除く。）の調理、提供に限る。

なお、冷凍品とは-20℃以下で24時間以上の冷凍をしたものをいう。

備考

原因食品：お造り盛り合わせ（シメサバ、タイ、カンパチ、マグロを含む）

病因物質：アニサキス

患者数：1名

**■アニサキスの食中毒で営業停止　2021-12-08（水） 17:00　WTVニュース**

**和歌山県和歌山市**

**アニサキス**

<https://www.tv-wakayama.co.jp/news/detail.php?id=66995>

**食中毒事件の発生について　2021/12/8　和歌山県和歌山市**

**アニサキス**

<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/041/561/2021120804.pdf>

　（概要）

令和３年１２月６日（月）午後５時３０分頃、医療機関から和歌山市保健所に「本日腹痛を呈して当院を受診した患者からアニサキスを摘出した。」との届出があった。

調査したところ、当該患者は１２月５日（日）午後８時頃から下記施設で購入したアジの刺身を自宅にて喫食し、翌日の午前５時頃から腹痛、吐き気を呈していることが判明した。原因と考えられる生食用魚介類の内、冷凍されていないものは下記施設で調理、販売されたアジの刺身以外にないこと、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことにより、下記施設で調理されたアジの刺身の喫食を原因とする食中毒と断定した。

　なお、患者は快方に向かっている。

１ 発生日時 令和３年１２月６日（月） 午前５時頃から

２ 有症者数 １名（男性 ４０代）

３ 主な症状 腹痛、吐き気

４ 病因物質 アニサキス

５ 原因食品 アジの刺身

６ 原因施設 業 種 魚介類販売業　営業所の名称 フードセンタ－プライスカット神前店

７ 原因等についての調査

　　・患者の喫食状況等の調査

・原因施設の調査

８ 措置 食品衛生法に基づき当該施設の魚介類販売業の一部を令和３年１２月８日（水）から１日間の営業停止（営業停止の範囲は鮮魚介類の調理加工に限る。）

**■福井市の飲食店で食中毒、胃からアニサキス　ブリの刺し身やだだみ酢食事　福井県福井市**

**2021年12月5日 午後5時10分　福井新聞**

**アニサキス**

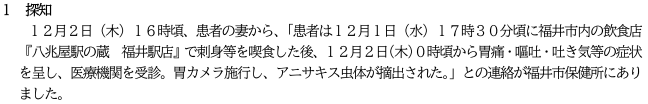
<https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/1449960>

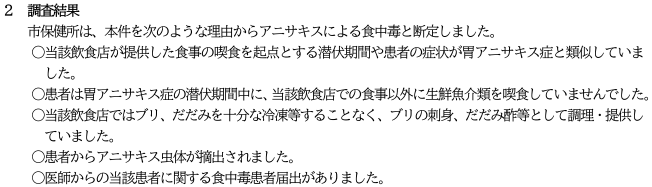
**アニサキス（寄生虫）による食中毒が発生しました　福井県福井市**

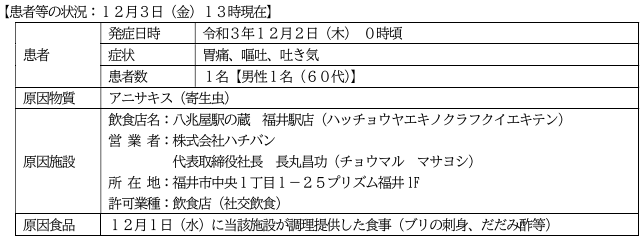
**2121/12/3**

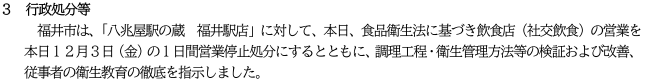
<https://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/eisei/syokuhin/p020749_d/fil/211203_houdou.pdf>













**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■**

**★ウイルスによる感染症★**

**■（速報）感染性胃腸炎患者の集団発生について　2021/12/7　北海道**

**感染症　サポウイルス**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/4/8/1/1/9/9/4/_/031207-05ityouen.pdf>

　北見保健所　幼稚園　31名　サポウイルス

　釧路保健所　小学校　20名　サポウイルス

1.発生の探知　2021/12/3、北見保健所管内の幼稚園から、複数の園児がおう吐、下痢、腹痛等の症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　北見保健所管内の幼稚園の園児30名及び職員１名が、11月22日から12月3日にかけておう吐、下痢、腹痛などの症状を呈し、うち４名が医療機関を受診した。（入院したものはいない）

　3.現在の状況　12月7日現在、症状は回復もしくは快方に向かっている

　4.経過

　　11月22日～12月3日　おう吐、下痢、発熱などの有症者発生

11月29日　幼稚園から保健所に通報

12月3日　医療機関において有症者5名の便を検査した結果、４名からサポウイルスを確認

　5.感染経路　現在調査中

1.発生の探知　2021/12/2に釧路保健所管内の小学校から、複数の児童がおう吐、下痢、腹痛等の症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　釧路保健所管内の小学校の児童20名が、11月25日から12月6日にかけておう吐、下痢、腹痛などの症状を呈し、11名が医療機関を受診し、治療受けた。（入院したものはいない）

　3.現在の状況　12月7日現在、症状は回復もしくは快方に向かっている

　4.経過

　　11月25日～12月6日　おう吐、下痢、発熱などの有症者発生

12月2日　小学校から保健所に通報

12月6日　道立衛生研究所において有症者6名の便を検査した結果、6名からサポウイルスを確認

　5.感染経路　現在調査中

**■高知市内の保育所でノロウイルスの集団感染　高知県高知市**

**12月03日　20時17分　高知 NEWS WEB**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kochi/20211203/8010013314.html>

**■県内の保育所でノロウイルスの集団感染 この冬初めて　佐賀県**

**12月03日　17時15分　佐賀 NEWS WEB**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/saga/20211203/5080010515.html>

**■保育園などでノロウイルスの集団感染 相次ぐ　岩手県**

**12月03日　12時07分　岩手 NEWS WEB**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/morioka/20211203/6040012769.html>

**■（速報）感染性胃腸炎患者の集団発生について　2021/12/2　北海道**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/4/7/4/0/0/3/2/_/031124-07ityou.pdf>

　深川保健所　保育所　１2名　ノロウイルス

　1.発生の探知　2021/11/30に深川保健所管内の保育所から、複数の園児が胃腸炎症を呈している旨、同保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　深川保健所管内の保育所の園児12名が、11月26日から12月1日にかけておう吐、下痢などの症状を呈し、医療機関を受診した。（入院したものはいない）

　3.現在の状況　12月2日現在、症状は回復もしくは快方に向かっている

　4.経過

　　11月26日～11月30日　おう吐、下痢、発熱などの有症者発生

11月30日　保育所から保健所に通報

11月30日～12月1日　医療機関において有症者2名の便を検査した結果、ノロウイルスを確認

　5.感染経路　現在調査中

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品★**

**■違反食品等に係る行政処分　2021/12/2　兵庫県相生市**

**生食用かきの規格基準(50,000/g)を超える細菌数(83,000/g)を検出**

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf14/hw14_000000020.html>

　処分年月日　令和3年12月2日

営業者氏名　株式会社あけぼの海産

主な適用条項　法第13条第2項

行政処分を行った理由　生食用かきの規格基準(50,000/g)を超える細菌数(83,000/g)を検出

　行政処分の内容　回収命令

対象品目　生かき（生食用かき）合成樹脂トレー入り(100g)

加工年月日 21.11.29

消費期限 21.12.02

**★その他関連ニュース★**

**■ノロウイルス食中毒注意報　今季初　長野県「せっけん使用し、丁寧な手洗いを」　感染性胃腸炎患者が急増　12/9(木) 12:09配信　NBS長野放送**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/603f37c04644bb44599598b87b09570bc4918e23>

**■インフルエンザ、17道府県から計27人の報告 - 厚労省が11月22－28日の1週間の状況公表　12/3(金) 16:05配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/be65fcc915ccc93063287884325008d31fecfb9d>

**■【感染症情報】感染性胃腸炎が4週連続で増加 - 手足口病も増加、過去10年同期比で最多**

**12/1(水) 13:00配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b68d96c81b0da0cf6caeb02659c806121e80fa0c>

**■【緊急のお知らせ】鶏肉の生食を原因とするカンピロバクター食中毒について　宮崎県**

**2021年12月1日　佐藤先生からの情報です**

<https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/health/food_and_health/300568.html>

令和3年11月末現在、宮崎市では飲食店を原因施設とするカンピロバクター食中毒が4件発生しています。

そのうち２件は、１１月中に立て続けに発生しており、調査の結果、いずれも加熱用の鶏肉を生食用として客に提供したことが判明しています。

カンピロバクター食中毒の主な症状は、腹痛、下痢、発熱などです。まれにギランバレー症候群(神経障害)を発症することがあります。

カンピロバクター属菌は牛や豚、ペットの口や腸内にも存在する菌ですが、特に鶏においては、とても高確率で菌を保有、排出しています。

大変な手間をかけて処理された生食用の鶏肉であっても、検査の結果、カンピロバクター属菌が検出されることはまれではありません。

カンピロバクター属菌は乾燥に弱く、通常の環境下では2～3日で死滅します。

しかしながら、冷蔵下ではかなりの長期間、感染性を失わずに生存します。冷凍下でも1カ月程度は死滅しません。

鶏の腸管内は、カンピロバクター属菌が増殖する条件がそろった場所です。（酸素濃度、温度、湿度、栄養分）

腸管内で増殖した菌は便とともに環境中へ排出され、鶏の体表にも付着します。

鶏の内臓も、筋肉の表面も、水洗いやあぶった程度では菌を完全に殺菌することは出来ません。

菌は時間の経過により減少していくため、新鮮な鶏肉ほどカンピロバクター属菌が多く付着しています。

**「新鮮な鶏肉だから安心」は間違いです。鮮度に関わらず、鶏肉は中心部までよく加熱（75℃1分間以上）したものをお召し上がりください。**

＊消費期限を過ぎた鶏肉は召し上がらないでください。

カンピロバクターによる食中毒を防止するため、「生の鶏料理（刺身、たたき等）などを提供している飲食店の営業者」や「市民の皆様（利用者）」に対し、次のとおり注意喚起します。

**営業者の皆様へ**

・加熱用鶏肉を生食用として提供してはいけません。

・生食として提供する場合は、生食用として処理されている鶏肉を確認して仕入れましょう。

・生の鶏料理（刺し身、たたき等）は、コースメニューに盛り込まず、客の求めに応じてその都度提供しましょう。

・生の鶏料理(刺し身、たたき等）は、免疫力の弱い幼児や高齢者、健康に不安のある方には提供を控えましょう。

・調理器具や従事者の手指等を介した食品の二次汚染を防ぐために、器具の洗浄・消毒及び手洗いを確実に行いましょう。

カンピロバクターによる食中毒を予防しましょう(飲食店営業者向けリーフレット)

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzenbu/0000127750_1.pdf>